

東日本大震災・北海道第2次派遣隊活動状況

・派遣期間

平成23年3月16日(金)～21日(月) 6日間

・派遣場所

石巻市 活動拠点・石巻総合運動公園

・派遣員

警防1課：吉川勝毅主査、大西伸二郎スタッフ

警防2課：福士忍スタッフ

・現地の状況

石巻市内は津波の影響で電柱が倒れ、瓦礫、車、船舶が山積し人通りはほとんどなく廃墟化していた。消防の車列が通ると被災者の方はこちらに対し願うように頭をさげられ、その姿を見て私たちは涙し、この人たちのためにしっかりと活動しなければと決意した。

・活動状況

16時00分、苫小牧東港において北海道地区の緊急救援隊が集結し、結団式を行い19時30分に出港、翌日に秋田港へ入港し、陸路被災地へ向かい6日間の捜索及び後方支援を任務として活動しました。



活動拠点の石巻総合運動公園



活動拠点でガソリン等の調達搬送を支援



搜索 牡鹿半島谷川地区へ向かう北海道2次隊



搜索 津波被害・牡鹿半島谷川地区



検索活動



検索活動



津波に流された車両



被災地で給水車を待つ人達

秋田港からの陸路、東北自動車道・古川ICを降りると停電で交差点は渋滞。橋がずれ、津波で流された車や船が道路の真ん中に放置されていた。搜索に入った石巻市牡鹿半島・鮎川、谷川地区は、津波の被害を受け建物の倒壊や流された車両により瓦礫化しているなど想像を絶する光景でした。

今回、北海道2次派遣隊での牡鹿半島の鮎川地区、谷川地区での搜索において行方不明者の発見には至りませんでした。

3月20日、北海道緊急援助隊2次隊として後方支援活動及び搜索活動を終え、北海道三次隊へ引継ぎ帰郷しました。

大事なのは、これからも出来る限り継続し被災地の復旧復興を願い活動することだと思います。最後に被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。